

介護保険事業計画推進会議（第1回）	
-------------------	--

H30.7.17	資料 3-2
----------	--------

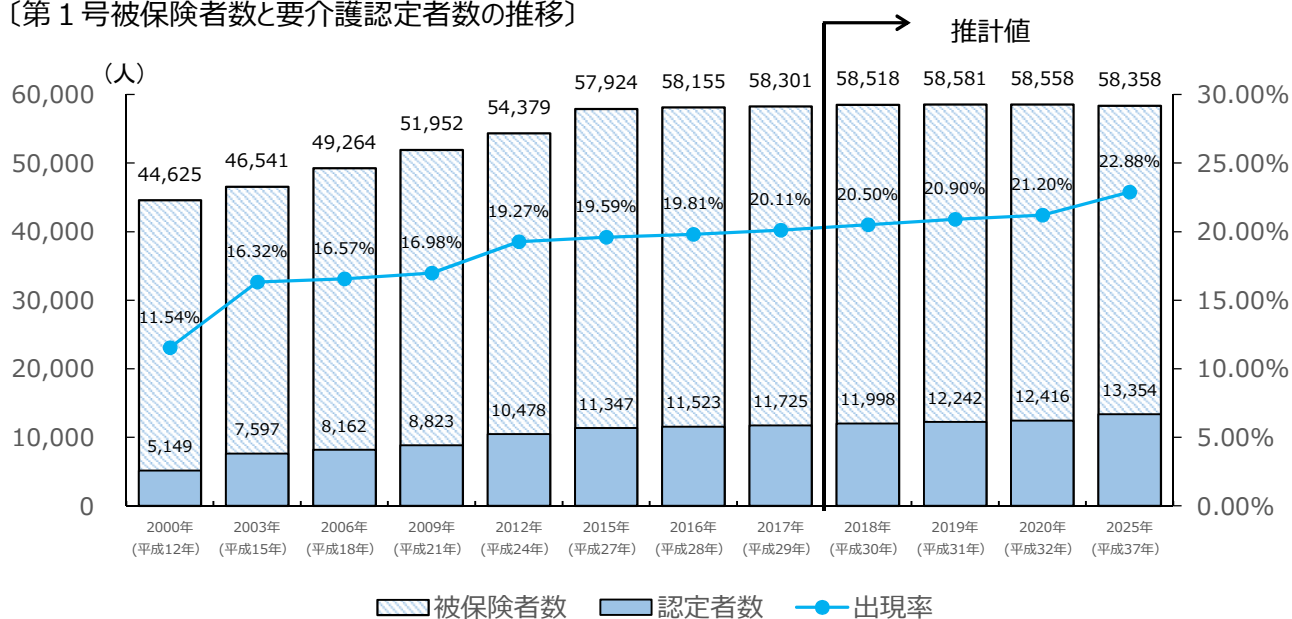
2025年の豊島区の高齢者の状況（推計）

1. 第1号被保険者数と要介護認定者数の推移（第7期介護保険事業計画より抜粋）

第1号被保険者数は増加を続けてきましたが、平成27年頃から増加が緩やかになり平成29年9月末の第1号被保険者数は58,301人となっています。今後は、平成31（2019）年を境に第1号被保険者数は緩やかに減少に転じていくと推計されます。

また、第1号被保険者数に占める要介護認定者数の割合（以下「出現率」といいます。）は2割弱で、ここ最近では微増傾向ですが、団塊の世代が後期高齢者となる平成37（2025）年度には22.88%と出現率は高くなると推計されます。

〔第1号被保険者数と要介護認定者数の推移〕



〔第1号被保険者数と認定者数の推移〕

（単位：人、％）

年度	被保険者数	認定者数	出現率
平成12（2000）年	44,625	5,149	11.54%
平成15（2003）年	46,541	7,597	16.32%
平成18（2006）年	49,264	8,162	16.57%
平成21（2009）年	51,952	8,823	16.98%
平成24（2012）年	54,379	10,478	19.27%
平成27（2015）年	57,924	11,347	19.59%
平成28（2016）年	58,155	11,523	19.81%
平成29（2017）年	58,301	11,725	20.11%
平成30（2018）年	58,518	11,998	20.50%
平成31（2019）年	58,581	12,242	20.90%
平成32（2020）年	58,558	12,416	21.20%
平成37（2025）年	58,358	13,354	22.88%

推計値

出典：各年介護保険事業状況報告3月月報、ただし平成29年度は9月月報。（豊島区）

2. 日常生活圏域単位の65歳以上人口の推移

日常生活圏域単位の65歳以上人口は、平成37（2025）年には、平成27（2015）年比で、西部地区以外のすべての圏域で増加する見込みとなっています。

（単位：人）

日常生活圏域	高齢者総合 相談センター圏域	平成27 (2015) 年人口	平成32 (2020) 年		平成37 (2025) 年	
			人口	平成27年比	人口	平成27年比
西部地区	アトリエ村	8,037	7,944	-93	8,254	217
	西部	8,257	8,240	-17	7,979	-278
北部地区	いけよんの郷	5,616	5,801	185	5,826	210
	中央	7,272	7,702	430	7,775	503
南部地区	医師会	5,683	5,928	245	5,880	197
	ふくろうの杜	6,139	6,336	197	6,259	120
東部地区	菊かおる園	7,332	7,746	414	7,639	307
	東部	7,878	8,169	291	8,135	257
総計		56,214	57,866	1,652	57,747	1,533

※平成27年の高齢者数は平成27年1月1日現在の住民基本台帳を使用

※高齢者人口の推計値については、「豊島区人口ビジョン」（平成28年3月）の目指すべき将来人口パターンBによる。

※各圏域の高齢者人口については、日常生活圏域別の性・年齢階級別人口を基に、に国立社会保障・人口問題研究所が性・年齢階級別に公表している各区市町村の生残率と純移動率を乗じることで推計。

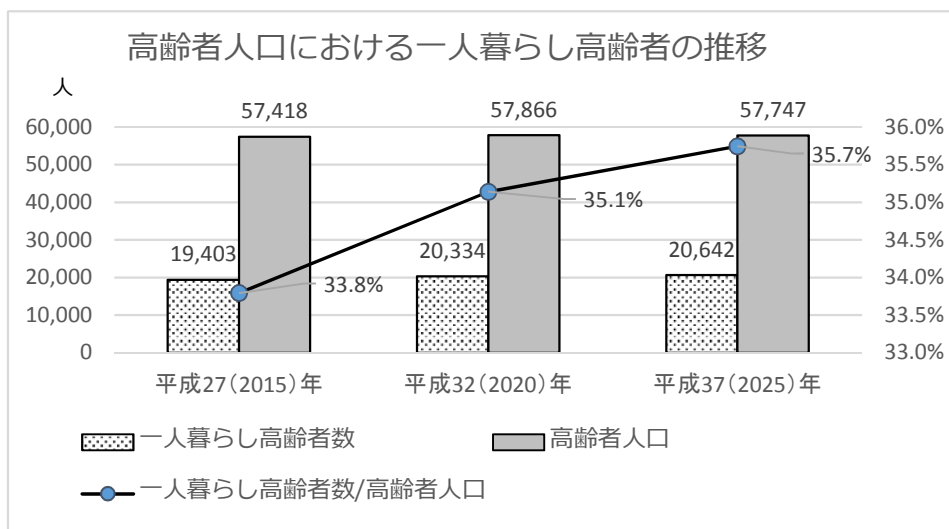


3. 一人暮らし高齢者の推計

豊島区の一人居らし高齢者数は平成27年（2015）では33.8%と、東京都平均の24.6%より高く、全国平均17.7%のおよそ2倍にあたりました。平成37（2025）年には一人暮らし高齢者数は20,642人、35.7%になることが見込まれます。

(人、%)

	平成27（2015）年	平成32（2020）年	平成37（2025）年
一人暮らし高齢者数	19,403	20,334	20,642
高齢者人口	57,418	57,866	57,747
一人暮らし高齢者数/高齢者人口	33.8%	35.1%	35.7%



※平成27（2015）年の数値は国勢調査による

※高齢者人口の推計値については、「豊島区人口ビジョン」（平成28年3月）の目指すべき将来人口パターンBによる。

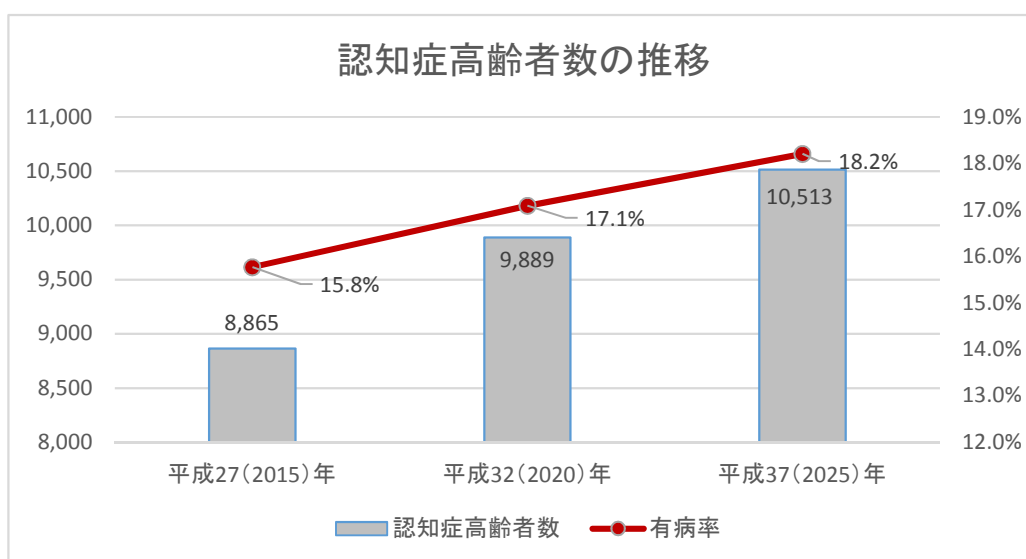
※国立社会保障・人口問題研究所が性・年齢階級別に公表している、2020年、2025年の東京都の単独世帯の世帯主になる割合に、2015年の国勢調査による都平均値と豊島区とのかい離値を調整の上、乗じることで推計。

4. 認知症高齢者数の推移

認知症高齢者の数は、平成27（2015）年の約9千人から10年後の平成37（2025）年には約1万500人、約1.2倍を見込んでいます。

(人、%)

年	平成27（2015）年	平成32（2020）年	平成37（2025）年
高齢者数	56,214	57,866	57,747
認知症高齢者数	8,865	9,889	10,513
有病率	15.8%	17.1%	18.2%



※平成27年の高齢者数は平成27年1月1日現在の住民基本台帳を使用

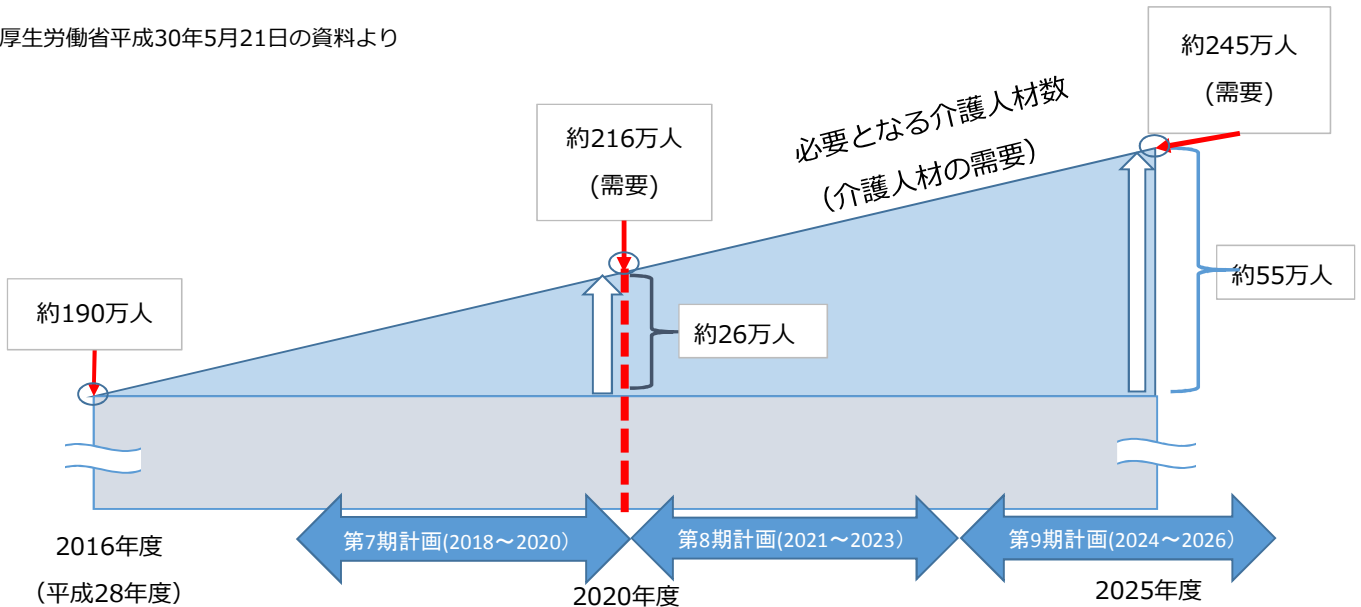
※高齢者人口の推計値については、「豊島区人口ビジョン」（平成28年3月）の目指すべき将来人口パターンBによる。

※認知症高齢者数の推計値は、「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」（平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授）報告書の表3「認知症患者数と有病率の将来推計」に掲載されている認知症患者推定有病率を参考に推計。

5. 第7期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数について（全国）

- 第7期介護保険事業計画の介護サービス見込み量に基づき、都道府県が推計した介護人材の需要を見ると、2020年度末には約216万人、2025年度末には約245万人が必要。
- 2016年度の約190万人に加え、2020年度末までに約26万人、2025年度末までに約55万人、年間6万人程度の介護人材を確保する必要がある。
- 国においては①介護職員の処遇改善、②多様な人材の確保・育成、③離職防止・定着促進・生産性向上、④介護職の魅力向上、⑤外国人材の受入環境整備など総合的な介護人材確保対策に取り組む。

※厚生労働省平成30年5月21日の資料より



注1) 需要見込みについては、市町村により第7期介護保険事業計画に位置付けられたサービス見込み量（総合事業を含む）等に基づく都道府県による推計値を集計したもの。

注2) 2016年度の約190万人は、「介護サービス施設・事業所調査」の介護職員数(回収率等による補正後)に、総合事業のうち従前の介護予防訪問介護等に相当するサービスに従事する介護職員数(推計値6.6万人)を加えたもの。

(参考) 東京都及び豊島区における介護人材の必要数の推計

(単位：人)

	介護職員数※1							要介護（要支援）認定者数※2	
	2016年（平成28年度）の介護職員数	2020年（平成32年度）			2025年（平成37年度）			平成28年度末	東京都に占める割合
		現状推移シナリオによる供給見込み	必要数見込み	需要ギャップ	現状推移シナリオによる供給見込み	必要数見込み	需要ギャップ		
東京都	179,836	179,857	191,415	11,558	188,155	222,820	34,665	573,881	-
豊島区 (推計)	3,678	3,678	3,914	236	3,848	4,557	709	11,736	2.0%

※豊島区の推計値は、厚生労働省平成30年5月21日資料の「別紙5」都道府県別介護人材必要数、東京都の人数に認定者割合を乗して推計

※1 2016年の数値：厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」（厚生労働省にて補正）による

2020年、2025年の数値については都道府県が行った推計による

※2 要介護認定者数は介護保険事業状況報告平成29年3月月報を使用

注) 1 2016年の数値、必要見込み、供給見込みの値は、いずれも通所リハビリテーションの職員数を含まない。

注) 2 2016年の数値、必要見込みの値は、総合事業のうち従前の介護予防訪問介護等に相当するサービスに従事する介護職員を含む。

注) 3 供給見込みの値は、現状推移シナリオ（近年の入職、離職の動向等を反映）による推計(平成30年度以降に追加的に取り組む新たな施策の効果は含んでいない。)